



図書室だより（10月）

町民センター3階



【開室時間】 火～金曜日 10:00～20:30
土・日曜日 10:00～17:00
【休室日】 毎週月曜日・蔵書整理22日～25日
※貸し出し冊数は4冊まで、期限は2週間です

今月のこの1冊

山本周五郎長篇小説全集

「縦の木は残った」上下 「さぶ」

山本周五郎生誕110年にあわせて刊行された長編小説の全集で、全26巻刊行される。著者は権力を嫌い、弱者を愛した時代小説で、長く読まれている。

この全集にはこれまで周五郎の著作や時代小説に手がでなかった人にも読みやすい工夫が随所にある。多くの脚注、主要登場人物の一覧、地図等がそれだ。

巻末の解説のほかに「山本周五郎と私」と題した現代作家のエッセーも興味深い。



新しく購入した図書（主なもの）

● 一般書 ●

・断固として進め 江上剛
・アクティブメジャーズ 今野敏
・襲名犯 竹吉優輔
・その青の、その先の、 柳月美智子
・政と源 三浦しをん
・正妻 林真理子
・夢幻諸島から クリストファー・プリースト

● 児童書 ●

・うまれたよベットントン 服部千春
・図工室の日曜日 村上しいこ
・タイヨオ 梅田俊作・梅田佳子
・だっこだっこ つちだよしはる
・ぐるんぐるんつむじかぜ アーノルド・ロバール

みんな集まれ！子どもの広場・おはなし会

◇子どもの広場

内容 「マジックサークル」をつくります
日時 10月19日(土) 10:00～
持ち物 水性カラーペン
対象 5歳（保護者同伴）～
場所 町民センター2階 小会議室A
申し込みは直接図書室へ または、☎82-5221

◇おはなし会（第2土曜日、第3水曜日）

日時 10月12日(土) 10:30～
10月16日(水) 15:00～
場所 町民センター3階図書室
申し込みはいりません

毎月1日は、【開成ファミリー読書デー】
家族みんなで本を読もう！

●家庭・地域・学校などでの読書活動を推進するため、
開成町では毎月1日を「開成ファミリー読書デー」にし、
読書活動を推進します。

*文芸

開成俳句会

俳句

九月吟

ともしび短歌会

短歌

八月詠

秋風に峠の彩り託しけり
芒原一陣の風吹き抜くる
高台の森に秋風無人ビル
蔓絡みめつた咲きなる葛の花
主なきビルの小庭の式部の実
遊歩道の木の影うすし葛の花
街遙か木々の間を秋の風
ひまわりの首をかしげて青少し
涼新た珈琲店へ急ぐなり
高々とオフィスビルなり秋早

新涼や一人歩きの至福なる

有賀 孝子
波多野すみ枝
遠藤まつ子
遠藤マツエ
遠藤美津子
奥津ちわき
下澤 操子
瀬戸 悦子
濱本 主雄
遠藤シヅ子
新井たか志

土用干し明けの稲田に流れ込み
堰にたばしる水音高し

諸星 末子
近藤 正臣 選

人の親見習ふべきか
子を護る夫婦カラスの異状な仕草を
子どもに対する虐待の記事を時々目にする中、作者は、夫婦カラスが子を護ろうとする異状なまでの鳴き声と行動を目撃した。これは、人間の親が見習い反省すべき点だと実感し、警句的に詠んだ歌。

「今でしよう」——優柔不断に決着の
切り込み素早い言葉だったとは
初句の言葉は、恐らく今年度の流行語大賞候補であろう。作者は、この言葉の持つ性格・機能等を改めて分析し、意味合い深さを再認識したと述懐している。時事に関心の高い作者ならではの一首。

石井はま江



◎高齢者を歩行中の事故から守りましょう！

事故死者の7割が高齢者で占められています。
65歳以上の高齢者が歩行中に車にはねられた事故のおよそ15件に1件が死亡事故になっていますので、次の点に注意しましょう。

◎高齢者の行動の特徴

1. 自宅近くの道路では、車に対する警戒心が薄い。
2. 脚力の低下などにより、安全を確認した後、行動するまでに間が空く。
3. 視野が狭くなるため、近づいてくる車の発見が遅れがちである。

◎ドライバーとしての事故防止のポイント

1. 住宅街では、歩行者を早めに発見するように努めましょう。
2. 道路脇に高齢者がいたら、その動向にしっかりと目配りをしましょう。
3. 右左折時、側方の横断歩道上や付近の歩道にも目配りをしましょう。
4. 道路右側から渡っててる歩行者に警戒しましょう。
高齢歩行者、自転車の利用者、ドライバーがそれぞれの特徴を理解し、その行動に配慮した安全運転を心掛けましょう！



調べる！町の調査隊 〈3〉

もも公園のナゾにせまる！

自治活動応援課

☎84-0315

子どもたちやママたちの間で「もも公園」という公園の名前を耳にすることがあります。円通寺の観音堂の横の道をはいつたところにある児童公園のことですが、この公園の正式名称は「もも公園」ではないことを皆さんご存知でしょうか？桃の木でもあるからかな？と思って公園を訪ねてみましたが、桃の木などはどこにもなく、近所に名前の由来になりそうな「もも」も見当たりません。この公園の名称を調べてみると「延沢西河原児童公園」という公園でどこにも「もも」がないのです。

では、どうして「もも公園」なのか？気になって気になって夜も眠れず、さっそく聞き込みを開始しました。最初に訪ねた役場では職員のほとんどが「もも公園」の名前を「聞



いた事がない」という中、お子さんが学童保育に通っているという職員が「子どもから『もも公園』という名前を聞いたことがある」と証言。ならば！近所の方ならわかるかも？と公園のご近所をあたっていたところ、こんな事実が・・・

開成町の気になるあの場所・あの人をお知らせください。開成町まちづくり情報特派員が取材します。お寄せいただいた情報の中から選定し、このコーナーへ掲載（偶数月）させていただきます。住所、氏名、内容をご記入のうえ、メールまたはファックスでお送りください。

✉jitika@town.kaisei.kanagawa.jp
FAX 82-5234

「公園の近くには以前、『もも美容室』というお店があり、それで『もも公園』と呼ばれているんです。美容室は10年以上前に建物ごとなくなってしまういましたが」
一気に疑問解消か!?この方のお話しによれば、昔の地図や電話帳には「もも美容室」が載っているそうです。愛称の由来となった「もも美容室」はすでになく、この由来を知る人も少なくなった今も公園には「もも」の名前が残っていたんですね。